様式A　技術英語講読（福田）

科目にかかわる情報				
科目の基本情報	授業科目 （欧文）	技術英語講読 Reading on Technical English	単位	2
	一般・専門の別・学習の分野	専門・自然科学系基礎・共通	授業形態・学期	講義・前期
	対象学生	ＭＳ－１	必修・選択の別	選択
教員にかかわる情報	担当教員・所属	福田昌准・機械工学科		
	研究室等の連絡先	研究室：福田，機械・電気電子工学科棟１階 E-mail：fukuda@tsuyama-ct.ac.jp		
科目の学習・教育内容にかかわる情報	基礎となる学問分野	工学／機械工学	学習・教育到達目標	Ｆ（Ｆ－２）
	授業の概要	機械・制御システムに関する取扱説明書，マニュアル，教科書等の技術英文の講読と文献紹介を行う。専門知識を確認しながら読解力の育成を図るとともに，技術英文の内容をまとめて発表する文献紹介を通してプレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の育成を図る。		
	学習目的	英文の技術書や取扱説明書の内容を理解して仕事に活用したり，これを要約して分かりやすく伝えるための素養を育成する。		
	到達目標	１．技術英語単語の理解を深める。 ２．専門知識を生かして，簡単な技術英文を理解できる。 ３．技術英文の内容を要約して発表し，質疑応答に対応できる。		
履修にかかわと履修のアドバイス	履修上の注意	本科目は「授業時間外の学習を必修とする」科目である。１単位あたり授業時間として１５単位時間開講するが，これ以外に３０単位時間の学習が必修となる。これらの学習については担当教員の指示に従うこと。 概要発表を必ず行うこと。		
	技術者教育プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F)コミュニケーション能力，プレゼンテーション能力の育成，Ｆ－２：発表や討論をとおして，相手の考えや知識の相互理解ができること」である。付随的には「Ａ－２」にも関与する。		
	履修のアドバイス	専門分野の基礎知識が前提となる。必ず予習をし，毎日英語に触れる機会を持つように心掛けること。		
基礎・関連科目にかかわる情報	基礎科目	英語，機械工学・電子制御工学に関する専門基礎知識		
	関連科目	実践英語Ⅰ（専１年），実践英語Ⅱ（専２）		

授業にかかわる情報				
授業の方法			「技術英文の講読」では，学生が技術英文を和訳することによって授業を進め，裏付けとなる専門基礎知識の確認も併せて行う。 「概要発表」では，内容をまとめて口頭による発表を行い，質疑応答を通して内容の理解を深める。	
授業計画	開講週		授業時間内の学習内容〔項目〕 （指示事項）	授業時間外の学習内容〔項目〕 （指示事項）
	前期	1週・2週	● 講義の概要〔ガイダンス〕 最近の記事より	・予習・復習，特に予習が前提となる．数回，予習の状況を確認し，これを評価に加える．
		3週・4週	● 取扱説明書(1)〔DVD player〕 弾性とひずみ	
		5週	● 概要発表(1)　ほか	・概要発表準備
		6週～8週	● ディーゼルサイクル 大学入試問題(1)〔アレルギー〕，ジュール熱ほか	
			● 単語テスト(1)(7週目)	
		9週	● 概要発表(2)　ほか	
		10週～12週	● 大学入試問題(2)，取扱説明書(2)〔アイロン〕ほか	
			● 小テスト(10週目)　ほか	
		13週	● 概要発表(3)　ほか	
		14週・15週	● 新聞記事〔エコカー〕，短文，大学入試問題(3)	
			● 単語テスト(2)(14週目)	
			（期末試験）	
教科書，教材等			教科書：自作の教材(プリント) 参考書：	
成績評価方法			試験成績(８０％)〔期末試験成績(５５％)，小テストおよび単語テスト(２５％)〕，概要発表(１０％)，授業時間外の学習成果(１０％)の総合評価とする。 試験（単語テストを除く）には，英和辞典の持込を許可する。	
受講上のアドバイス			エンジニアに英語は必須である。授業には，各自で自発的，積極的に取り組むとともに，英語に触れる機会を多く持つように心掛けること。 ２０分を越える遅刻は，欠課とみなす。	